

どうする家康：戦国歴史検定②



悲運の名将 武田勝頼



* 信玄公の遺言書の内容 * 諏訪四郎勝頼の出生

・天正3年(1575)旧暦5月21日【長篠・設楽原の戦い】で大損害を被った勝頼は、必死で盛り返しを図った。信玄以来の敵であった北条氏政との間で、同盟関係を結び、東からの脅威を取り除いていきました。領土も武田家最大になります。しかし天正9年(1581)、徳川家康により遠江の高天神城を奪い返された勝頼は、韮崎に新府城を築き防戦するものの、在城1ヶ月の新府城を焼いて天正10年3月11日に天目山の麓の田野の地(甲州市大和町)で、北条夫人と嫡子信勝と共に自刃して、清和源氏の流れをくむ戦国の雄『名門武田氏』が滅亡しました。皮肉な事にこの3ヶ月後の6月2日、本能寺の変により織田信長も明智光秀の裏切りで没します。時の織りなす綾とも言えます。

以下の7問の質問に答えて下さい・スマホ等で検索可能です！満点を目指しましょう！

- ・設楽原の決戦では、信玄公以来の多くの武将が亡くなりました。(武田24将絵の中で8将)このうち武田四天王の3名の武将の名前を答えてください。 **A B C**
- ・【長篠・設楽原の戦い】では、多くの火縄銃が使用されました。現在までに50個程の玉が発見されていますが、ほとんどが鉛玉です。鉛玉の融点温度は何度でしょうか？
A 320℃ B 1000℃ C 1500℃ 【鉛玉】の他は【鉄玉】と【銅玉】です。
*ちなみに天下分け目の戦いと云われる関ヶ原の戦いでは、1発の玉が発見されています。
*歴史資料館裏では、平成12年7月8日に大和村小学6年生が火縄銃の玉を発見しました。
- ・天文12年(1543)ポルトガル人が、種子島の門倉岬に漂着し、2挺の火縄銃を領主種子島時堯(ときたか)が購入し、鉄炮の伝来は、製造へと技術が伝えられて行きました。当時の鉄砲生産地の地名の〇〇部分を補い完成して下さい。
A 【大坂の〇】 B 【近江の〇〇】 C 【紀伊の〇〇】
- ・【長篠合戦屏風図絵】の中央に、主人の首級を小脇に抱えて、被官の志村又左右門が持ち帰ろうとする描写がありますが、その主人の首級は次のうち誰でしょう？
A 【甘利信康公】 B 【山縣昌景公】 C 【内藤昌豊公】 D 【原 昌胤公】
- ・江戸時代の文久元年(1862)に、戦没者の霊を弔う寺として、信玄塚に福来寺が建てられ明治8年に廃寺となりました。祀られていた位牌は今も丁重に供養されていますが、そのお寺の名前は何と言いますか。 **A 【長篠山医王寺】 B 【聖堂山勝楽寺】 C 【通磨山大通寺】**
- ・【新城戦国絵巻三部作】として、新城市で行われる戦没者の慰霊の祀りで無いのはどれ？
A 【長篠合戦のぼりまつり】 B 【設楽原決戦場まつり】 C 【作手古城まつり】 D 【タニシまつり】
- ・天正10年3月11日天目山の田野の地で、【甲州市大和町】武田勝頼公主従は、滝川一益隊を迎え撃ち、大軍を相手に僅かな手勢で奮闘し、ここに名門武田氏は滅亡しました。

* 武田勝頼公の辞世の句は次のうちどれですか？ 他は北条夫人の句 嫡子武田信勝公の句

- 「おぼろなる 月もほのかに曇かすみ はれてゆくまの 西の山のは」
- 「黒髪に 乱れたる世ぞ はてしなき 思ひに消ゆる 露の玉の緒」
- 「あだに見よ だれも嵐の 桜花 咲き散るほどの 春の夜の夢」

武田勝頼公の辞世の句

